

# 中泊町所在の蓑虫山人資料について

## 1 蓑虫山人について

天保7～明治33年(1836～1900)。放浪の画人として知られる蓑虫山人は、天保7年(1836)美濃国(岐阜県)安八郡結村に生まれた。本名は土岐源吾、ほかに「蓑虫(蟲)仙人」「三府七十二縣庵主(人)」「六十六庵主(人)」とも号した。

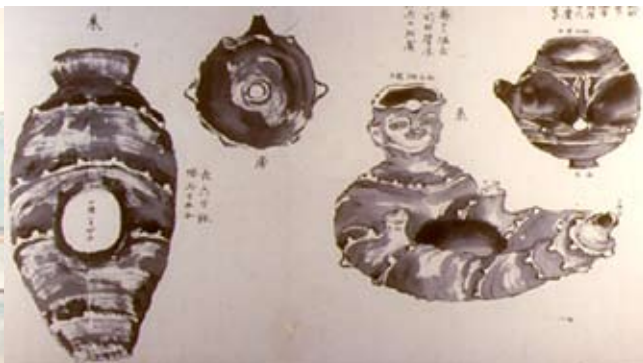
嘉永2年(1849)14歳のときに郷里を出て以来、48年間にわたって諸国を放浪し、その足跡は全国各地に残されている。生活用具一式を背負い、時には折りたたみ自在の寝幌に一夜を過ごす山人の旅は、九州地方を手はじめに、中国・近畿・東海・関東を経て、明治10年(1877)北奥羽地方へ及んだ。

山人にとって、北奥羽の風土は居心地の良いものであったらしく、放浪の旅を終える明治29年(1896)まで毎年のように来遊し、佐藤部・広沢安任ほか多くの地元人々と交流を結んだ。

山人は、青森県をはじめとする北奥羽各地へ長期にわたって逗留する傍ら、名勝や文化財あるいは寄留先の様子などを詳細に記録に残した。近代の北奥羽地方の雰囲気如実に伝えるそれらの資料群は、民俗学研究の一級資料として評価されている。

また考古学に対してはとくに深い関心を抱き、多くの遺物を収集しつつ、明治20年(1887)には木造町亀ヶ岡遺跡の発掘調査を手がけている。この調査の様様を記す書簡は、「人類学雑誌」に掲載され、同遺跡の名を全国に広げる役割を果たした。

諸国歴遊の旅を終えた後は、名古屋市長母寺に寄寓する傍ら、自らが収集した資料を展示する「六十六庵」建設を構想したが、果たせないまま明治33年(1900)65年の生涯を終えた。



## 蓑虫山人略年譜

\* 網掛けは中泊町関連

天保7年	1836年	0歳	美濃国（岐阜県）安八郡結村に生まれる。本名土岐源吾。
天保14年	1843年	8歳	結村受徳寺の小僧となる。
嘉永2年	1849年	14歳	生母「なか」死亡。郷里を出奔して放浪の旅に出る。
嘉永5年	1852年	17歳	父武平司64歳の時、結村を引き払い、名古屋へ移住。
安政3年	1856年	21歳	この年から蓑虫の号を用いる。
安政5年	1858年	23歳	投身自殺を企てた西郷隆盛を助けたという。
万延元年	1860年	25歳	長崎で画像祖門鉄翁に南宗画を学ぶ。
文久3年	1863年	28歳	熊本県下を漫遊する。
明治2年	1869年	34歳	父武平司死亡、洞仙寺に葬る。岐阜博覧会古器物取調係となる。
明治5年	1872年	37歳	4月京都に滞在。岐阜へも立ち寄る。
明治10年	1877年	42歳	東北地方への旅にでる。岩手県水沢滞在。
明治11年	1878年	43歳	秋田・岩手・青森への旅に出る。田名部の徳玄寺、佐井の箭の根八幡宮・長福寺に滞
明治12年	1879年	44歳	青森に滞在する。
明治13年	1880年	45歳	下北半島に滞在する。
明治14年	1881年	46歳	深浦の白崎家・広田家、追良瀬の今家・黒滝家、秋田小池村千田家などに滞在する。
明治15年	1882年	47歳	1月舞戸の一戸家に滞在。 2月鱒ヶ沢の戸沼家に滞在。 4月鱒ヶ沢の高沢寺に滞在。 5月相野（現森田地区）の盛家に滞在。 6月宮川（現中里地区）の古川家、筒木坂（現木造地区）の三橋家に滞在。この月、浪岡で書画会開催。 7月弘前で佞武多を観る。 8月宮川の古川家に滞在。 9月五所川原の石井家に滞在。佐々木嘉太郎と会う。油川の西田家・津幡家に滞在。 10月小泊の秋元家に滞在（～翌年5月）。
明治17年	1884年	49歳	枝川（現田舎館村）の工藤家に滞在。秋大鱒の加賀助旅館滞留、中野（現黒石市）中野神社に遊ぶ。十和田湖を経て三沢に至り広沢安任と会う。
明治18年	1885年	50歳	青森に滞在する。
明治19年	1886年	51歳	8月弘前で佐藤蔭と会う。 9月浪岡町の平野家・木村家に滞在。日本考古学の先駆者神田孝平氏と会う。
明治20年	1887年	52歳	4月青森県に滞在。亀ヶ岡遺跡の発掘調査をおこなう。 5月青森で奥村準作と書画会を開く。 6月三沢で古代器物展覧会を開く。会記を広沢安任が記す。 8月上京し、文部技官・神田孝平と会う。 10月秋田へ行く。
明治21年	1888年	53歳	秋田に滞在。神田氏に長者屋敷石器採集の状況を報告。
明治23年	1890年	55歳	3月まで横手に滞在。 6月宮城県仙台に滞在。
明治24年	1891年	56歳	濃尾大地震起こる。宮城県から岩手県へ移る。
明治25年	1892年	57歳	岩手県に滞在。
明治26年	1893年	58歳	2月岩手県から結村役場に濃尾震災による郷里の被害状況を問い合わせる。
明治27年	1894年	59歳	1月岩手県に滞在。
明治28年	1895年	60歳	1月秋田に滞在。 4月秋田扇田で肖像写真をとる。 5月青森の村本家に滞在。 7月弘前、碓ヶ関に滞在。
明治29年	1896年	61歳	1月秋田県扇田の麓家を最後に東北地方における長年の旅を終わり、名古屋の嫡兄左金吾宅を訪ねる。 4月羽島郡下羽栗村円城寺に滞在する。美濃地方に大洪水起こる。
明治30年	1897年	62歳	1月円城寺に滞在。 10月円城寺地区の人々の援助を受けて「竈庵」を作る。
明治32年	1899年	64歳	7月丹羽郡北小湊村の大慈寺（姉の寺）に招かれ、聴衆に国体の趣旨を説く。長母寺に蒐集した古器物出土品等を運ぶ。
明治33年	1900年	65歳	2月名古屋市長区矢田町長母寺にて永眠。法号蓑虫庵遍照源吾居士。

[出典] 青森県立郷土館 1984 青森県立郷土館特別展図録 蓑虫山人ほか

## 2 中泊町所在の蓑虫山人資料

No.	作品名	所有者名	実寸(cm)	紀年	落款等	状態	備考
01	十和田湖之図	塚本恭一氏	170.5*107*4枚		蓑虫山人	襖	申請
02	山水図	塚本恭一氏	141*41.5		六十六庵主蓑虫	No.01裏面	申請
03	花鳥図	塚本恭一氏	141*42.5			No.01裏面	申請
04	湖山図	塚本恭一氏	141*42.5		蓑虫	No.01裏面	申請
05	梅図	塚本恭一氏	141*41.5		蓑虫	No.01裏面	申請
06	山溪図	塚本恭一氏	141*42	明治廿年	蓑虫山人	No.01裏面	申請
07	花図	塚本恭一氏	141*42		蓑虫	No.01裏面	申請
08	山水図	塚本恭一氏	141*42		三府七十二縣庵主人	No.01裏面	申請
09	養老泉之図	塚本恭一氏	141*42.5		蓑虫	No.01裏面	申請
10	八耕田岳之図	塚本恭一氏	168*83*4枚		蓑虫山人	襖	申請
11	山水図	塚本恭一氏	141.5*43		蓑虫山人	No.10裏面	申請
12	書	塚本恭一氏	141.5*14.5		蓑虫山人	No.10裏面	申請
13	寒山拾得図	塚本恭一氏	141*44		蓑虫翁	No.10裏面	申請
14	書	塚本恭一氏	141*15		蓑虫	No.10裏面	申請
15	鯉魚図	塚本恭一氏	141*44		蓑虫山人	No.10裏面	申請
16	書	塚本恭一氏	141*13.5		蓑虫山人	No.10裏面	申請
17	松図	塚本恭一氏	142*43.5		蓑虫	No.10裏面	申請
18	書	塚本恭一氏	142*15		三府七十二縣庵主人	No.10裏面	申請
19	暗門山三面瀑布之図	塚本恭一氏	171*106*4枚		三府七十二縣庵主人蓑虫	襖	参考
20	書	塚本恭一氏	117*31		蓑虫山人	額装	参考
21	鯉魚昇滝之図	塚本恭一氏	177.5*97		大日本蓑虫山人	軸装	参考
22	國幣小社岩木山之図	塚本恭一氏	178*96		蓑虫山人	軸装	参考
23	人物図	西山 徹氏		明治十六年	蓑虫山人	屏風	町文化財
24	滝見観音図	西山 徹氏	106*60		蓑虫仙人	軸装	町文化財
25	大日本富士山図	西山 徹氏	128.5*49.5	明治十二年	蓑虫仙人	軸装	町文化財
26	大仙山之図	西山 徹氏	124*51	明治十二年	蓑虫仙人	軸装	町文化財
27	巖手山之図	柳沢良知氏	130.5*51.5	明治十二年	蓑虫仙人	軸装	町文化財
28	無言行中之図	加藤久六氏	76*50		蓑虫仙人	軸装	町文化財
29	宝舟図	高田以佐美氏	113*53		蓑虫仙人	軸装	町文化財

### ・種類、所在地

中泊町内に伝来する蓑虫山人資料は、全 29 点である。中泊町に所在する蓑虫山人書画は、全 29 点、うち画 24 点、書 5 点である。所在地別にみると、中里地区 22 点、小泊地区 7 点であるが、小泊地区資料中 No. 28 無言行中之図・No. 29 宝舟図については、脇元村最大の網元齋藤家（ヤマカギ）伝来のものである。

また中里地区のものはすべて藩政時代代々手代を勤めた福浦塚本家伝来のものであるが、個人が所有する蓑虫山人資料としては県内でも最多クラスに相当する。

### ・指定の有無

小泊地区所在の 7 点はすべて町有形文化財に指定されている。中里地区の 22 点はいずれも無指定であるが、うち今回申請のあった資料は 18 点である。

・表装

現在の状態でみると、襖絵が19点で最も多く、軸装が8点で続く。残りの資料も屏風・額装に仕立てられており、いずれも表装済みである。

・意匠

町内に所在する29点の資料を検討した結果、落款印が町内に存在する書画すべてのものであるとともに、書風・画風が共通することから、今回申請のあった18点を含めてすべて真作と判断される。

・落款

落款の号は、「蓑虫（蟲）」「蓑虫（蟲）山人」「蓑虫（蟲）仙人」「六十六庵主（人）」「三府七十六懸庵主（人）」等が認められるが、いずれも類例が認められる。これらのうち制作時期に関連しそうなのは「蓑虫（蟲）仙人」であり、明治12年銘資料を含めて小泊地区においてのみ認められる号である。

数量的に最も多いのは「蓑虫（蟲）山人」で11点、「蓑虫（蟲）」が7点、「蓑虫（蟲）仙人」が6点で続く。今回は同類に含めたが、本来は「虫」「蟲（略字）」「蟲（正字）」の書き分けが認められ、あり前二者がほぼ同数、「蟲（正字）」はNo.28無言行中之図のみであった。

・紀年

紀年銘（制作年代）のある資料は5点存在し、明治12年が3点、明治16年が1点、明治20年が1点である。いずれも青森県に滞在している時期に相当することから、当地で描かれた可能性があるものである。とくに、明治15年(1882)10月から翌16年(1883)5月にかけては、小泊で酒造店を営んでいた秋元金四郎宅に滞在していたことが「陸奥国北津軽郡小泊村秋元金四郎碧月楼之図」等から明らかであることから、No.23人物図については小泊において制作された可能性が高い。

小泊地区に所在するNo.25大日本富士山之図・No.26大仙之図・No.27岩手山之図の三点は連作「日本名山図」の一部として明治12年(1879)に描かれたものであり、いずれも画風・様式・落款・寸法等が近似する。

中里地区所在の資料中、紀年銘があるのはNo.06山溪図の明治20年のみであるが、他の作品も同様の製作年代が考えられる。同年蓑虫は、木造館岡の亀ヶ岡遺跡の発掘調査をおこなっていることからその前後に塚本家に滞在した可能性が考えられる。

なお明治15年6月と8月には中里地区宮川の古川家に逗留しているが、現在のところ同家所蔵の蓑虫山人資料知られていない。

・画題

画24点点中、墨一色で描かれたものが10点、加えて水彩が施されたものが14点である。画題は、山水・名勝旧蹟等の風景画が最も多く12点を数える。その他の故事・動物・植物の類は比較的少ないが、小泊地区に神仏画が集中する点が注意を引く。

・寸法

軸装に適した40cm（一尺二寸立）～50cm（一尺五寸立）幅に集中する。そうしたなかでNo.21鯉魚昇滝之図、No.22國幣小社岩木山之図の二幅は、3尺2寸幅の堂々たる大幅である。また今回申請のNo.1十和田湖之図、No.10八耕田岳之図は幅2間前後の襖絵仕立ての大作であり、県内山人資料中においても最大級である。

種類	
画	24
書	5

指定の有無	
町指定文化財	7
今回申請分	18
指定無し	4

表装	
襖絵	19
屏風	1
軸装	8
額装	1

落款	
蓑虫（蟲）翁	7
（大日本）蓑虫山人	11
蓑虫仙人	6
六十六庵主	1
三府七十二懸庵主人	3
なし	1

紀年	
明治十二年	3
明治十六年	1
明治廿年	1
なし	24

画題	
風景	12
動物	3
植物	3
人物	1
故事	2
神仏	3
書	5

寸法	
襖（巾広）	2
襖（標準）	1
屏風（二曲）	1
100cm	2
60cm	1
50cm	5
40cm	12
30cm	1
15cm	4

### 3 今回申請資料の特長

県内最多級の蓑虫山人資料を擁する塚本コレクション中の 18 点であり、一括性が極めて高い。また塚本家に伝来した資料であり、保存状態も良好なものが多い。

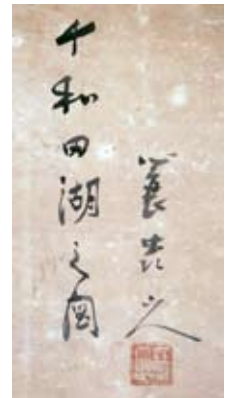
塚本家滞在中に描かれたと推定される明治 12 年の紀年名資料が含まれる。他の資料も同様の制作年代が推定され、山人の円熟期に描かれた作品群と評価される。

青森県の山水名勝を代表する「十和田湖」「八甲田山」を描いた襖絵仕立ての大作 2 点が含まれる。県内最大級であるとともに、墨一色で雄渾に描かれた風景画は、蓑虫山人の頂点を示すものであり、美術史的にも重要な作品と考えられる。





01 十和田湖之図 蓑蟲山人 [申請資料]



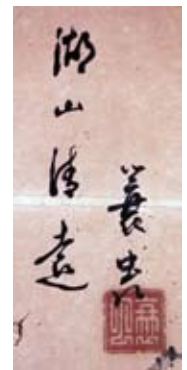
02 山水図 六十六庵主蓑蟲 [申請資料]

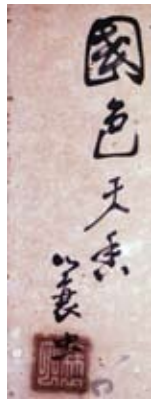


03 花鳥図 [申請資料]

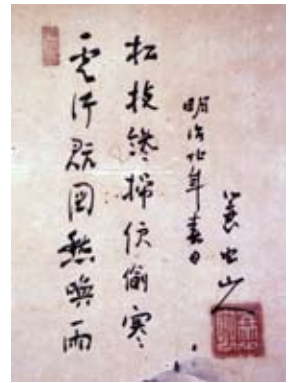


04 湖山図 蓑蟲 [申請資料]

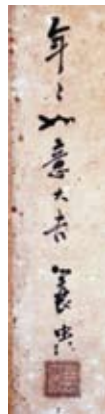




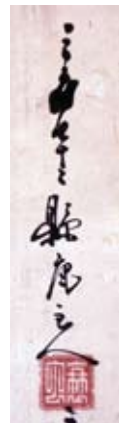
05 梅图 蓑虫 [申請資料]



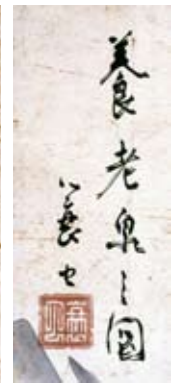
06 山溪图 蓑虫山人 明治二十年 [申請資料]



07 花图 蓑虫 [申請資料]



08 山水图 三府七十二縣庵主人 [申請資料]

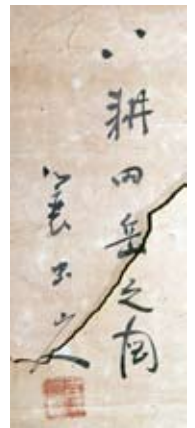


09 養老泉之图 蓑虫 [申請資料]

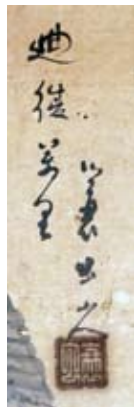




10 八耕岳之図 蓑虫山人 [申請資料]



11 山水図 蓑虫山人  
8 [申請資料]



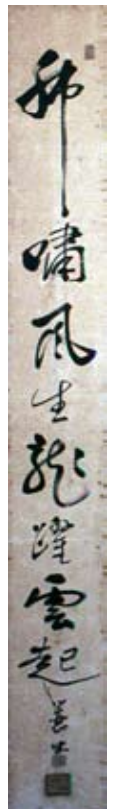
12 書 蓑虫山人  
[申請資料]



13 寒山拾得之図 蓑虫翁  
[申請資料]



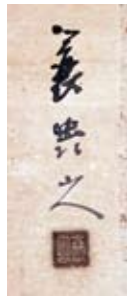
14 書 蓑虫  
[申請資料]







15 鯉魚図 蓑蟲山人 [申請資料]



16 書 蓑蟲山人 [申請資料]



17 松図 蓑蟲 [申請資料]

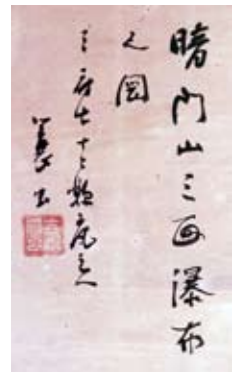


18 書 三府七十二縣庵主人 [申請資料]





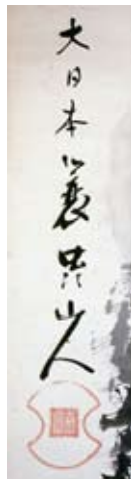
19 暗門三面瀑布之圖 三府七十二縣庵主人 蓑虫 [参考資料]



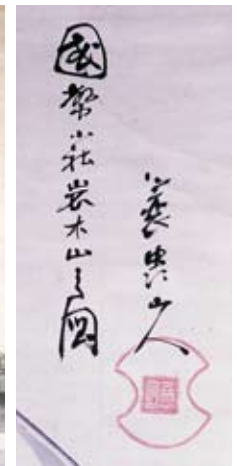
20 書 蓑虫山人 [参考資料]



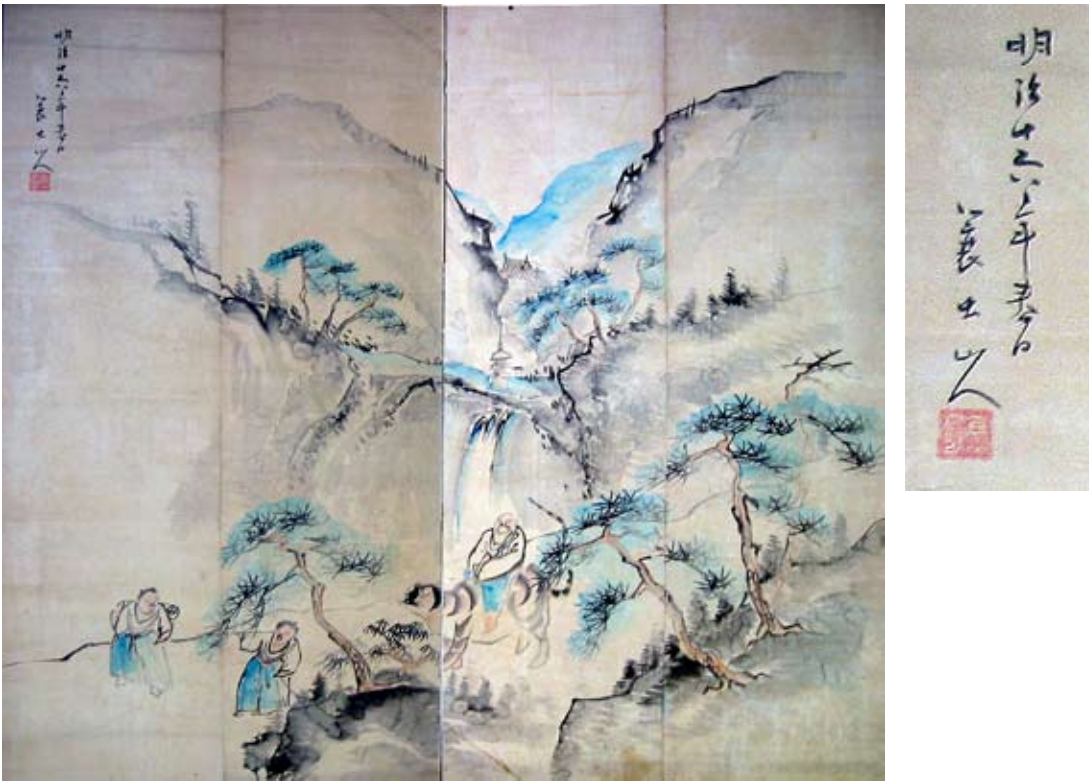
21 鯉魚昇滝之圖 大日本蓑虫山人 [参考資料]



22 國幣小社岩木山之圖 蓑虫山人 [参考資料]







23 人物図 明治十六年 養虫山人 [町文化財]

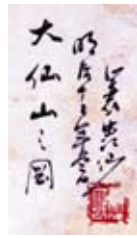


24 滝見観音像図 養虫山人 [町文化財]

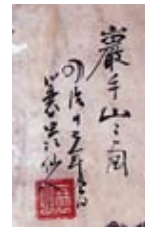


25 大日本富士山之図 明治十二年 養虫山人 [町文化財]





26 大仙山之図 明治十二年 蓑虫仙人  
[町文化財]



27 巖手山之図 明治十二年 蓑虫仙人  
[町文化財]



28 無言行中之図 蓑虫仙人  
[町文化財]



29 宝舟図 蓑虫仙人 [町文化財]